

令和3年度 教育活動関係者評価

藤枝順心高等学校附属幼稚園

1 幼稚園の教育目標

教育目標 豊かな心とたくましい体を持った子  
 重点目標 思いやりのある子 がんばりのきく子 挨拶のできる子

2 評価項目の達成及び取組状況（評価 A：十分達成 80%以上 B：達成 79～60% C：成果がやや足りない 59～40% D：不十分 39%以下）

(1) 指導領域の評価

評価の項目と主な観点	職員評価		評価の理由(成果や課題・改善策)	関係者評価
① 健康安全・体力の向上 ・朝の持久走や運動遊び等による体力や運動能力の向上 ・健康で安全な生活をしようとする態度や習慣 ・様々な食べ物に興味を持ち進んで食べようとする意欲	A	90.7%	◇昨年度より 3.3 ポイント上がった。コロナ禍であっても、各学年が工夫をしながら朝のマラソン・体操や運動遊びに取り組みができたことが要因と考える。また、本年度初めて実施した親子チャレンジウォークの評価も高かった。保護者の評価も 98%と高評価であった。 ◇行事が多く、運動遊びの時間を確保することに腐心している。	A
② 人間関係・自立心 ・ものごとの善悪や決まりの大切さに気付いて行動する態度 ・友達の気持ちを大切にしようとする態度 ・人とかかわる楽しさを感じ、一緒にやろうとする態度	A	92.6%	◇昨年度よりほぼ同じであった。担任は運動会、発表会などの行事を通して子どもの思いを聞いたり、子ども同士で決めさせたりするなど意図的に仕掛けている。そのことにより人間関係の向上や自立心の育成をしていることが成果となっている。 ◇運動会後の縦割りでのマーチングやバルーン遊びの取り組みは、上の学年への憧れや関りに大変成果がある。	A
③ 言葉 ・自分の思いを言葉で伝えようとする態度と力 ・話を聞こうとする意欲や態度 ・読み聞かせを楽しむ	A	87.9%	◇昨年度よりやや上がった。本園が力を入れている「聞く」ことが着実に成果となって表れていることがわかる。また、行事だけでなく保育活動でも子ども同士意見を出し合い考えさせたりしていることも評価された。保護者からの評価も 95%と高かった。 ◇英語については、保護者の要望も高くサイバードリムの機械を3台に増やしたが、なかなか継続的に取り組めなかったと反省も上がっている。	A
④ 表現 ・活動に興味や関心を持って取り組み心を動かされる姿 ・自分の思いを自分の方法で楽しみながら表現する喜び	A	91.1%	◇昨年度より 1.2 ポイント下がったが、保護者評価は 99%と高い。この差は、保護者は発表会などを高く評価しているが、職員は発表会だけでなく絵画制作やクラス活動において、今よりもっと子ども達に豊かに表現させたい、研修をしたいと考えているためと考える。	A
⑤ 環境 ・園内外の動植物に興味関心を持って接しようとする態度 ・野菜や花の成長を喜び、世話をしようとする態度 ・環境とかかわって遊んだり遊びをつなげたりする態度	A	82.1%	◇昨年度より 1.6 ポイント下がった。例年課題にあがる項目であるが、限られた条件のなかでも、学園でドングリ拾いなど様々な工夫をしながら取り組んでいることがわかる。 ◇本年度は園舎と預かり棟の間に小さな畑を作ったため、子どもが観察することができた。来年度からも有効活用したい。 ◇ビオトープがなかなか生かされていないため、どうするか今後の課題である。	A

(2) 園の重点目標や活動についての評価

1 がんばりのきく子		◇昨年度より 3.8 ポイント下がったが、保護者の評価は 94%と高いものであった。	
------------	--	--	--

・困難なことがあっても最後までやり遂げようとする姿	A	90.4%	◇学年の目標をチャレンジ・チャレンジ・チャレンジとし、子ども達に刺激を与えたため、あきらめないでがんばる姿がたくさん見られた。 ◇親子チャレンジウォークでは、6キロの距離をひよこ、年少の子どもでも最後まで歩き通すことができ、自信につながった。	A
2 思いやりのある子 ・友達のことを気遣い友達の気持ちを考えて行動する姿	A	92.6%	◇昨年度より 2.6 ポイント上がった。ひよこ組や年少児に上の学年の子どもから優しくされた経験が、上の学年になった時に生きている。 ◇保護者の評価は昨年度より 3 ポイント下がったが 95%と高い評価であった。	A
3 あいさつのできる子 ・自分から挨拶したり挨拶されたら挨拶を返したりする姿	A	87.1%	◇昨年度より 1 ポイント上がった。あいさつができる子どもはだいぶ増えてきているが、個人差が大きい。始業式やののさまの時は大きな声で挨拶ができて、朝の登園時ではできない子どもが多い。 ◇保護者にも挨拶できない、またはしない人が多い。来年度は保護者にも挨拶を求めている。	A
4 行事の評価 ・様々な行事での園児の姿、行事の計画・運営等の評価	A	93.6%	◇昨年度よりほぼ同じであった。 ◇コロナ禍であっても、感染予防を工夫しながらできる限り普段通りの行事を行うことができたことを自己評価している。 ◇多くの保護者も、コロナ禍でも行事を行い、保護者に参観の機会を与えてくれたことを高く評価していた。	A
5 個に応じた指導 ・園児の理解に努めそれに応じた指導ができたか	A	86.7%	◇昨年度より 1 ポイント下がった。支援を要する子どもが多くなってきており、個々への対応に悩んでいる様子が見える。しかし、フィードバックなどを通して共有したことを一人一人の子どもの支援に生かしている。 ◇保護者から 95%という高い評価を得たことは、「わが子を大切にしている」という満足感の表れと思われる。	A
6 地域の施設や人材、自然を生かした指導 ・地域理解に努め地域を生かす指導ができたか	B	76.2%	◇昨年度とほぼ同じであった。本園の課題であり、園外保育の不足を指摘されているが、年中、ひよこ組では学園内など工夫しながら散歩することができたように思われる。また、親子チャレンジウォークも評価された。 ◇園児数が増加しているため、多人数の引率を工夫しなければならない。 ◇保護者の評価 95%と高く、限られた環境の中でも工夫した保育をしていることを高く評価している。	B
7 保護者への対応や連携 ・保護者への連絡や対応、連携が適切であったか。	A	87.4%	◇昨年度より 3.4 ポイント下がった。 ◇保護者対応については丁寧、誠実にすることを共通理解している。担任は常に丁寧に保護者に連絡し、連携を図ろうとしているが、園児数の増加により目が行き届かなかったという反省も見られた。 ◇保護者評価は 94 から 89 に 5 ポイント下がっている。意見の中に担任が子どもを見ていないことや受け答えに不信感を抱いているものがあつた。戒めとしていきたい。	A
8 園内研究や研修の推進 ・指導力や保護者への対応力向上等の研修ができたか。	A	82.7%	◇昨年度より 3.7 ポイント上がった。コロナ禍ではあるが、園内研修を実施したり、講師を招いて音楽研修も実施できたことが評価された。しかし、自己研修を積極的に行うかどうかは個人差が大きい。若手保育者が増えているので、園の保育力向上のためにも今後も研修を推進していきたい。 ◇南ブロック研修には若手 4 人を参加させ、保育力の向上を図った。	A
9 校務分掌の適切さ			▽昨年より 3.5 ポイント上がった。評価は上がったが、一部係に負担が重くな	

・仕事量と人数が適切で効果的な分掌となっていたか。	A	83.5%	っている指摘も多くみられる。働き方改革にも関係してくるが、業務の精選と協同性を今一度考えていきたい。 ▽保育、行事の精選や見直しを進めていく必要がある。	A
10 魅力ある園づくり ・就園先として選択される園づくり	A	92.8%	◇昨年度より 0.8 ポイント上がった。園児数の増加が保護者から評価されている証であると職員は自信を持つようになってきている。今後も、保護者子どもに満足度の高い活動や行事を提供できるよう努力していきたい。 ◇子どもが楽しむだけでなく、保育者自身も楽しんで保育している様子が伺える。それが相乗効果を生んでいるように思われる。 ◇ひよこ(2歳&満3歳保育)、運動、絵画造形、英語、運動会、発表会、課外保育、預かり保育が充実し、選ばれる幼稚園ができつつある。	A

### 3 本年度の重点 「笑顔あふれる幼稚園」

1 笑顔あふれる保育や行事を提供できたか	A	95.7%	◇昨年度とほぼ同じである。笑顔あふれる幼稚園 (Smile Smile Smile) が定着してきたことが大きい。子どもが笑顔になる＝保育者も笑顔で保育することを実践している担任の力が大きい。 ◇保護者の評価は昨年続き 99%と非常に高い。	A
2 子どもは笑顔で園生活を送っているか	A	95.7%	◇昨年度とほぼ同じであった。担任は子ども達が笑顔で園生活を送っていることに、自身の保育への充実感や満足感を感じている。 ◇保護者の評価は昨年度より 5 ポイント下がった。	A
3 教職員は笑顔で子どもや保護者に接しているか	A	99.3%	◇昨年度より 0.8 ポイント上がった。全職員 Smile Smile Smile を常に意識し、実践できている。またそれが普通になってきていることがうれしい。 ◇保護者の評価は 99%と高い。先生方の挨拶と笑顔がとにかく爽やかでいつも気持ちがいいなどという意見が多く寄せられた。	A

### 4 総合的な評価結果(園内評価委員会の評価を記載)

評価	理由
A	<p>○昨年度に続き園児獲得に大きな成果があった。笑顔あふれる幼稚園の具現、保育の質の向上、充実した保育環境、職員の対応など魅力ある園づくりが成果をあげている証である。今後も継続的な努力を期待したい。</p> <p>○全ての項目に満足度が高く、教職員の指導の結果であり、熱心に指導していることが保護者に伝わり、波及した結果だと思う。</p> <p>○教職員、保護者とも評価が高いが、コロナ禍であっても工夫しながら行事や保育を実施してきたことへの評価だと受け止めたい。実際、保護者の感想にはコロナ禍で行事を実施してくれたことへの感謝が多く述べられていた。実施判断が難しい状況でも、園が決断をしたことを評価したい。また、保護者の意見に批判的なものがあるのは、保護者はその時々で評価や意見を述べるので、一喜一憂することなく自分たちの保育に自信を持っていてほしい。</p> <p>○発表会や作品展を参観したが、どの子も自分なりの表現をしっかりと出し、自立してきていることが感じられ、学年ごとの成長も感じられた。</p> <p>○職員評価に避難訓練を毎月実施しているとあるがとてもよいことである。災害は忘れたころにやってくると言われるので、用心に用心を重ねて今後も慎重にやってほしい。</p> <p>○総じて保育に対してよい結果を出していると感じている。園児の保育に積極的に取り組んでいることはとてもうれしく思う。これからも 学園向上のために職員一丸となって努めていただくことを切望します。</p> <p>○挨拶、礼儀もしっかり教えてくれること。また、在園児だけでなく、卒園児や兄弟まで大切にしてくれる職員が素晴らしい。</p> <p>○本園に「入園させてよかった」という保護者の意見が多数見られたことについて、ある評価委員から「自分が園児であれば、ここで学びたい(生活したい)と思えるほど素敵な幼稚園だと思う」と感想を述べてくれた。</p>

	<p>▽挨拶が課題にあがっているが、挨拶は幼稚園だけで指導するのではなく、家庭との連携を図っていくことが大切である。</p> <p>▽課外のげんきっこは指導者により指導の差が見られる。また、英語教室も全て英語で行うため、返って苦手になってしまう子どももいることを理解してほしい。</p>
--	---